

日本生物高分子学会 2023 年度大会

参加される方へのご案内

参加申込みは件名を「参加申込（申込者の氏名）」として、8月31日（木）までに momma@kyoto-wu.ac.jp までご連絡ください。発表者の申込みは不要です。

主催

日本生物高分子学会

開催日

2023年9月3日（日）

一般講演、評議員会、総会、編集委員会

会場

京都女子大学 E 校舎

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35

参加費

無料

口頭発表

講演会場 E 校舎 E103

講演時間 15 分(口頭発表 12 分、質疑応答 2 分、交代 1 分)

講演には液晶プロジェクターを使用します。PC をご持参ください。トラブルが生じた場合に備えファイルを USB メモリでもお持ちください。

評議員会

当日 12:10 より日本生物高分子学会評議員会を E104 にて開催いたします。評議員の方はご出席ください。出欠に関しては別途学会事務局からご案内させていただきます。

総会

当日 13:10 より E103（口頭発表会場）にて開催いたします。日本生物高分子学会会員の方はご出席ください。

編集委員会

当日 16:00 より日本生物高分子学会編集委員会を E104 にて開催いたします。編集委員の方はご出席ください。出欠に関しては別途学会事務局からご案内させていただきます。

昼食

開催日は学内食堂・購買は営業していません。また近隣の飲食店も少なく、コンビニ等にもやや距離があるため、駅周辺でご購入、ご持参いただくことをおすすめいたします。飲料自動販売機は E 校舎にあります。

京都女子大学へのアクセス

JR・近鉄「京都」駅から

市バス 206 系統・86 系統・208 系統（乗り場 D2）で約 10 分、「東山七条」で下車し、東へ坂を登り徒歩約 5 分。バス 230 円

タクシー約 10 分 約 1000 円（京都女子大学、女坂を上った門まで）

京都駅八条口から

プリンセスラインバスで約 10 分、「京都女子大学前」で下車。

京阪「七条」駅から

東へ約 1.2km（徒歩約 15 分）

プリンセスラインバスで約 5 分、「京都女子大学前」で下車。

阪急「京都河原町」駅から

6 番出口から、市バス 207 系統で約 15 分、「東山七条」で下車し、東へ坂を登り徒歩約 5 分。2 番出口から、河原町通を南へ約 80m、プリンセスラインバスで約 15 分、「京都女子大学前」で下車。

京都女子大学 HP もご覧ください <https://www.kyoto-wu.ac.jp/access/index.html>

プリンセスラインバスは日曜日は 1 時間に 1 本程度です。乗り場等と合わせて、時刻表を HP でご確認ください。支払い(230 円)は現金のみです。 <https://princessline.jp>



E 校舎正面階は 2 階になりますので、
E103 (1 階) へは階段を降りて下さい

プリンセスライン
バス停はこの左



日本生物高分子学会 2023 年度大会プログラム

2023 年 9 月 3 日 (日)

9:55 開会挨拶 (E103)

10:00~12:10 一般講演 (*優秀発表賞対象演題)

*1 10:00

1-デオキシノジリマイシンによる α -グルコシダーゼ阻害の速度論的解析

○小田垣祐生¹、西本創¹、有川慧美¹、池田祐輝¹、喬穎¹、滝田禎亮¹、伊東昌章²、保川清¹

¹京大院・農・食生科、²沖縄高専・生物資源

*2 10:15

α -グルコシダーゼ活性測定における、ヒト Caco-2 細胞とラット腸管アセトンパウダーの比較と、HPAE-PAD とムタロターゼ-GOD 法の比較

○池田祐輝¹、西本創¹、喬穎¹、矢野晴菜¹、南秀明²、伊東昌章³、木村俊之⁴、滝田禎亮¹、保川清¹

¹京大院・農・食生科、²京都市産業技術研究所、³沖縄高専・生物資源、⁴農研機構・分析研

*3 10:30

低マグネシウム血症関連タンパク質 CLDN14,16,19 の Mg^{2+} 輸送能解析

○稲森陽菜、佐野智、石寫純男

京府大・院生命環境

*4 10:45

シロイヌナズナの膜タンパク質 MRS2, MHX の大腸菌 Mg^{2+} 要求性相補実験を用いた Mg^{2+} 輸送能の解析

○荒木博司、佐野智、石寫純男

京府大・院生命環境

休憩 11:00~11:10

*5 11:10

大腸菌 Mg^{2+} 要求性変異株を用いたヒト由来膜タンパク質 NIPA family の機能解析

○原田康平、佐野智、石寫純男

京府大院・生命環境

*6 11:25

黄色ブドウ球菌のキャリアリピド合成におけるリピドホスファターゼの寄与の解析

○深田周平、實川智貴、石川諒太郎、宮井淑充、末永修一、寺崎元紀、藤崎真吾

東邦大・理・生物分子

*7 11:40

黄色ブドウ球菌リポドホスファターゼ遺伝子発現の大腸菌のキャリアリポド含量および薬剤感受性への影響の解析

○田熊ゆい¹、末永修一¹、實川智貴¹、大村梨沙子¹、宮奈々恵¹、飯坂洋平²、安齊洋次郎²、藤崎真吾¹

¹東邦大・理・生物分子、²東邦大・薬・微生物

*8 11:55

レポーターを使用した突然変異体取得の技術開発

○浜中悠希、町田雅之、佐野元昭

金工大・バイオ

12:10~13:10 評議員会 (E104)

13:10~13:30 総会 (E103)

13:30~15:55 一般講演 (*優秀発表賞対象演題)

*9 13:30

超好熱アークア由来ホモセリン脱水素酵素の熱成熟による補酵素特異性の変化

○平山泰史¹、須田菜月²、渡辺一矢¹、後藤勝²、大島敏久³、吉宗一晃¹

¹日大・生産工、²東邦大・理、³大工大・工

*10 13:45

放線菌由来 P450(CYP105A1)の機能改変と医薬品代謝研究への応用

: R84A 変異体による非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)の代謝

○鎌田成栄¹、和田萌加¹、山形昌也¹、水谷公彦²、三上文三^{3,4}、大橋錬¹、佐久間宙¹、根本翔⁵、Somaye Nilouyal¹、余語祐哉⁶、安田佳織⁶、濱田昌弘⁶、榊利之⁶、保川清^{1,5}、滝田禎亮^{1,5}

¹京大院・農・食生科、²京大院・農・応生科、³京大生存研、⁴京大エネ研、⁵京大農・食生科、

⁶富山県大・工

*11 14:00

Streptomyces moboraensis 由来トランスグルタミナーゼの高純度成熟体の精製法の検討

○中井逸斗¹、森本健太¹、濱中雄大¹、山田章文¹、雷雨坤¹、京逸如¹、山形昌也¹、水谷公彦²、三上文三^{3,4}、保川清¹、滝田禎亮¹

¹京大院・農・食生科、²京大院・農・応生科、³京大生存研、⁴京大エネ研

*12 14:15

RT-qPCR を用いた Gibberellin Regulated Protein(GRP)の発現解析

○岡本(河合)菜¹、平川由紀²、成田宏史²、門間敬子²

¹京栄医専・管栄、²京女大・食栄

*13 14:30

オーファン GPCR である Gpr150 による糖尿病性神経障害性疼痛の発症

○原琴乃、西尾紗希、川越愛以、芦高恵美子
大阪工大院・工・生命工学

休憩 14:45~14:55

14 14:55

一本鎖DNA結合タンパク質 gp32 に対するモノクローナル抗体の作製

○門間敬子¹、平川由紀¹、成田宏史¹、Kevin Maafu Juma²、滝田禎亮²、保川 清²
¹京女大・食栄、²京大院・農・食生科

15 15:10

テラヘルツ時間領域分光法による脂肪酸の物性評価

○北岸恵子、斗内政吉、芹田和則
阪大・レーザー研

16 15:25

イチゴアレルゲン Fra a 1 の NMR 解析

西野真弥¹、野田響子²、石橋美咲^{3,4}、宇野雄一³、○新田陽子²

¹お茶大院ライフサイエンス専攻、²お茶大基幹研究院、³神戸大院農、⁴京都大院農

17 15:40

香辛料熱水抽出液の塩味増強効果の検討

小平理乃¹、森光康次郎²、○新田陽子²

¹お茶大院ライフサイエンス専攻、²お茶大基幹研究院

15:55 表彰および閉会

16:00~17:00 編集委員会 (E104)

座長一覧

演題番号	座長
1~2	芦高恵美子（大阪工業大学）
3~5	滝田禎亮（京都大学）
6~8	北岸恵子（大阪大学）
9~11	新田陽子（お茶の水女子大学）
12~14	吉宗一晃（日本大学）
15~17	藤崎真吾（東邦大学）

優秀発表賞

30歳以下の若手研究者を対象に、優れた口頭発表に対して優秀発表賞 Best Presentation Award を授与いたします。受賞者は、評議員および座長による採点によって決定します。（同じ研究室および共同研究者を審査することはできません。）

2023 年度大会 対象演題番号 1~13